



シラバス参照

タイトル「2020年度シラバス」、フォルダ「経済経営学類」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	スタートアップセミナー		
担当教員	根建 晶寛		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:K
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
備考			
特修プログラム		ナンバリング	g1110010
教育目標との関係 (DPポイント配分)	基盤教育 基盤教育	最新の専門知識及び技術 本質を見極めるための教養と学際性 協働的な問題探究 社会の改善につなげる創造性 市民としての主体的態度	50 % 20 % 30 % 0 % 0 %
授業方法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> 発表 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> ICT機器の活用		
授業概要とねらい	<p>この科目は、学習集団の中での協働的な活動を通して、高校と大学の学び方の違いを理解するとともに(学びの質的転換)、大学という学習環境の活用方法や、アカデミック・ライティング、プレゼンテーション等の基本的・汎用的アカデミック・スキルズを身につけることを目的としています。</p> <p>※ 学生さんと相談し、飯坂温泉周辺を中心とした学外研修を予定しております。</p>		
単位認定基準	<p>a. 学習集団の中で協働的に課題に取り組むことができる。 b. 設定された(した)テーマに関する文献を読み、要約することができる。 c. 最低限の形式を守ったレジュメやレポートを作成することができる。 d. 設定された(した)テーマについて他者に伝えることができる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション はじめてレポートを書く人のために 建設的なテキストの読み方とは～テキスト批評を題材として～ レポート・論文の執筆要件～最低限おさえておくべき原則について～ 分析対象テーマと問題設定、本文全体の構成、脚注の付け方 新聞記事の読み方を学ぶ 孫子の兵法について学ぶ～バイキンマンはどうすればアンパンマンに勝てるか～ プレゼンテーションスキルを学ぶ①～将来的に描くキャリアについて発表する～ プレゼンテーションスキルを学ぶ②～内容は各自の自由～ 経営について記事と漫画を題材に学ぶ: ディスカッション① グローバル化について考える: ディスカッション② 地域について学ぶ: ディスカッション③ スタンフォード大学の集中講義の一部を参考に議論してみる 人生について考える～みなさんは何を考えて生きていくか～ 今後の学生生活に向けて <p>(注) 上記の各題目は受講生と相談して適宜変更となる可能性はあります。一昨年度はみんなで合唱をしました。明るく前向きに活動する意欲のある学生さんや情の深い周囲を大切に学生さんの応募を心待ちにしております。</p>		
教材・教科書	河野 哲也 ² 「レポート・論文の書き方入門」第4版、慶応義塾大学出版会、2018年 飯田 英明 ³ 「プレゼンに勝つ図解の技術」第2版、日本経済新聞出版社、2012年 許 成準「図解 超訳 孫子の兵法」彩図社、2012年		

参考図書	Tina Seelig(2009), 高遠 裕子訳(2010)『20歳のときに知っておきたかったこと スタンフォード大学集中講義』 他にも時折、新聞記事などを配布予定です。
参考URL	特になし。
授業以外の学習	時折、個人課題及びグループのプレゼンテーション課題を与えますので、資料収集、事前の打ち合わせなどが必要になります。また、平日頃、興味ある雑誌記事や新聞記事の情報収集を行うことを意識しながら進むと良いでしょう。
成績評価の方法	a. グループワーク等への参加・貢献状況 b. レジュメの形式・内容 c. プレゼンテーションの形式・内容 d. レポートの形式・内容 ただし、b～dについて、この科目では「内容」よりも、一般的または指定された形式を守れているかを基本的な評価の観点とする。
成績評価の基準	S. 単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学習成果をあげた(90～100点) A. 単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学習成果をあげた(80～89点) B. 単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学習成果をあげた(70～79点) C. 単位認定基準を満たす最低限の学習成果をあげた(60～69点) F. 単位認定基準の学習成果をあげられなかった(～59点)
オフィスアワー	講義後に適宜対応します。もしくは、事前にメールを頂ければ予定調整いたします。
授業改善・工夫	レポート・論文の書き方やプレゼンテーションに関する良例を学生さんに示すなどの工夫をこらす予定です。
留意点・注意事項	講義の大まかな内容に変更はありませんが、状況に応じて、順番を入れ替える可能性があります。
教員の実務経験の有無	前職の金融機関における業務経験及び非常勤先の会計専門職大学院での論文指導講座の経験をふまえてスタートアップセミナーを実施する。

